



名古屋 名大ロータリークラブ Weekly Report

2012～2013年度 No. 28

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 創立：昭和56年3月4日
 例会場：P HOTEL 名古屋錦 中区錦三丁目 15-30 (052) 953-5111
 事務局：名古屋市中区錦三丁目 15-30 P HOTEL 名古屋錦 560号室
 (052) 961-2399 (直通) (052) 953-5111 FAX (052) 961-2391
 E-mail: meihokrc@beach.ocn.ne.jp

会長：小関 敏光 幹事：古川 康司 会報委員長：近藤 朗 題字：遠藤 友彦

クラブテーマ ここに平和を

本日の例会(第1530回) 1/23(水)

3RC(半田南・名古屋葵・名古屋名北)

合同夜間例会及び懇親会を行います。

次回の例会(第1531回) 1/30(水)

《追悼記念週間卓話》

スピーカー 会員 遠藤 友彦君

会員 西脇 良一君

題名 「追悼記念週間」に因んで

第1529回例会記録 1/16(水)晴

司会 尾関 正一君

斉唱 RS・それこそロータリー

ゲスト紹介 米山奨学生

ラシドファ、カミラ アフマドジョノフナさん

来訪者紹介 名古屋城北RC 津坂 守英君

出席報告

会員数	37名	前々回訂正	1527回例会
欠席会員数	9名	欠席会員	3名中
出席会員数	28名	MAKE UP	3名
出席率	75.68%	出席率訂正	100%

会長挨拶

会長 小関 敏光

みなさん今日は。1月14日は成人の日ということで、全国で120万人程の新成人が誕生したそうですが、昔は、16歳ころに元服ということ

で、男子は成人として扱われるようになっていました。

ところで、前に少しお話ししましたが、幕末に長崎に来た英国商人グラバーは、1838年6月6日にスコットランドの寒村フレイザーバラに生まれ、本名はトーマス・グレイブ・グラバーといひます。1857年、19歳のときに、上海に辿り着き、そこで商売を学び、2年後の1859年(安政6年)9月19日に弱冠21歳で長崎へ入港したそうです。

長崎へ来た時は、イギリスのジャーディン・マセソン商会の代理人となっていました。彼は長崎で貿易商を展開し、1861年(文久元年)にグラバー商会を設立しますが、当初は、お茶、石炭、木綿等を取り扱って利益をあげて、この金で長崎の外国人居留地の借地権を買い上げ、これを他の外国人へ売却や賃貸するなどして儲け、わずか4年後の25歳で、長崎を一望できる高台に、敷地約1万5000坪の豪華なグラバー邸を完成させたそうです。

そして、彼は、驚くべきことに、1863年(文久3年)5月には、伊藤俊輔(当時22歳、後の博文)や井上聞多(当時28歳、後の馨)など長州人5名を私費で英国留学させ、また、1865年(元治2年)1月には、薩摩藩の五代友厚(当時29歳)、寺島宗則(当時32歳)など19名を、やはり私費で英国留学させています。当時「尊皇攘夷」思想の強かった薩長の有力な若手を、ヨーロッパへ留学させ、「開国倒幕」の思想を持たせようとしたのでした。もちろん彼らは、明治以降、我国の重要ポストや財界の中心人物となっています。

その間、1864年(元治元年)ころから坂本龍馬(当時29歳)とも知り合い、1865年(慶応元年)には龍馬に「亀山社中」を設立させて、長州藩へ武器弾薬や蒸気船を売り渡させる等したうえ、1866年(慶応2年)に成立した「薩長同盟」にも深く関与していたようでした。

その後も、グラバーは、薩摩、長州、土佐等の有力藩に武器を信用貸しで販売する一方、幕府側が発注した武器については放置するなどして、倒幕を助けました。明治になると岩崎弥太郎の三菱商会との関係も深め、グラバー商会は絶頂期を迎えますが、多額の債権を有していた薩摩や長州藩がなくなり1870年(明治3年)にはあえなく倒産。その後、グラバーは1881年(明治14年)から三菱財閥の顧問となるなどし、1908年(明治41年)に勲二等旭日重光章を叙勲され、1911年(明治44年)12月16日に東京で死亡しています。享年73歳でした。

今から150年程前に20歳となった人々は、幕末のころ想



像もつかない活躍をしていたようです。

ありがとうございました。

幹事報告

1. 今月はロータリー理解推進月間です。後程月間日に因みまして、加藤(昌)ロータリー情報委員長より卓話をして頂きます。
2. 会員の山田浩二君が一身上の都合により 12 月末を以って退会されましたので、お知らせ致します。従いまして、会員数は 1 月 1 日より 37 名になりました。
3. 家族忘年会の写真を展示致しましたので、1 月 30 日(水)までにお申し込みをお願い致します。
4. 来る 2 月 26 日(火)の 5RC (名古屋北・守山・錦・葵・名北) 合同夜間例会及び懇親会の出欠票の締め切りは 1 月 18 日(金)までとなっておりますので、よろしくお願い致します。
5. 次回例会(1/23)は 3RC (半田南、名古屋葵・名北) 合同夜間例会及び懇親会となっております。午後 6 時より例会、引き続き懇親会を当アパホテル名古屋錦にて行いますので、お間違えのないようお願い致します。

友の会報告

・新年会のご案内

(カメラ同好会 半泊 與則)

ご案内

・「食の会(あんこう鍋 "得仙")」のご案内

(幹事 古川 康司)

卓話

「ロータリー理解推進月間」にちなんで



新世代奉仕委員会
委員長 加藤 昌之

先日、東京の出張の帰りに、三島で降りて「米山梅吉記念館」を見学してきました。なぜ見に行ったかと言えば、「米

山梅吉が何故ロータリー活動に生涯を投じたか？」を知る為です。米山梅吉は、明治 21 年メソジスト派の福音会を頼ってアメリカに渡り、奉仕活動や国際理解の必要を学んだようです。

ロータリーは、1905 年 2 月 23 日ポールハリスが、社会が商道徳の荒廃している中シカゴで結成しています。今年で、108 年目です。奇しくも今年と同じ巳年であります。ネット情報によれば、「巳年は草木の成長が極限に達した状態で、次の生命を造り始める時期を表す。」「巳年は荒れる年でもある。1929 年世界恐慌、41 年太平洋戦争、77 年オイルショック、89 年昭和天皇崩御、2001 年貿易センタービルテロ攻撃。」

日本に於いては、米山梅吉らが 1920 年 10 月 20 日に設立しています。しかし残念な事に、1940 年から 1949 年 3 月

まで戦争の為に脱会しています。梅吉の国際理解による平和が達成されませんでした。梅吉は戦後 21 年 4 月に 78 歳でなくなっています。

「ロータリーの友」1 月号に新綱領の事が書かれています。「ロータリーの綱領」は新「ロータリーの目的」となって、読みやすく短い文章になりました。しかし私はもっと短く「4 つのテスト」並に「4 つの目的」としてはどうかと思っています。それは、「1、知り合いを増やそう。2、職業倫理を高めよう。3、奉仕の理念を実践しよう。4、国際理解、親善、平和の推進をしよう。」では「4 つのテスト」はどうなっているか、「1、真実かどうか。2、みんなに公平か。3、好意と友情を深めるか。4、みんなのためになるかどうか。」

この 2 つは、「中核的価値観」と表現しています。また難しくなりました、いわゆるロータリアンが持つべき、行動指針と判断基準だと思います。そして究極の目的が「超我の奉仕」です。これもロータリー用語で難しく思えます。私流に言えば、「愛」または「人類愛」と単純に理解しています。(そうではないかもしれませんが。)

今年の RI テーマ「奉仕を通じて平和を」は、まさにロータリアンが目指す行動の到達点。日本において平和でないときはロータリーがないときです。逆に、ロータリー活動が活発なときは「平和」なときです。

今、ロータリーは会員数を大きく減らしています。減少にはまだまだ歯止めがかかっていません。ロータリー活動の低調さが「平和の意識」の低下に繋がりはしないかと危惧します。昨今の近隣諸国との国際理解をみるにつけて、この心配は私だけのものでしょうか。

平和の希求こそロータリーの活動ではないのか、その活動の源は「超我の奉仕」であり、米山梅吉の生涯にみる事が出来ません。

ニコボックス

梅村美知容さん

和顔施 人にやさしく笑顔

加藤 昌之君

卓話をさせていただきます。

【加藤昌之君、卓話よろしくお願ひします。】

小關 敏光君	尾関 正一君	岩田 満治君	足立陽一郎君
渡邊 泰彬君	古川 康司君	石黒 勉君	北村 紀子さん
梶川 久雄君	遠藤 友彦君	横井 尚啓君	星川 直志君
柴山 利彌君	道家 泰之君	尾関實津成君	阿部 美男君
西脇 多吉君	木村 雅一君	半泊 與則君	入江由希子さん
横田 徳久君			